

① 人材育成

【現状・課題】

- ①人材育成に関して67.5%の企業が何らかの問題を抱えている。 ※ H22能力開発基本調査〔厚生労働省〕より
⇒ 「指導人材の不足」、「人材育成を行う時間の不足」など企業における社員教育が十分でない。
- ②団塊の世代の退職が始まっていること等により、熟練技能を円滑な継承が課題。
- ③経済のグローバル化や国内市場の縮小により、県内企業もグローバル化への対応が迫られる中、グローバルに活躍できる高度人材の確保が必要。

【現場の意見】

- ①長引く不況で社内での人材育成する時間的・体力的余裕がない。
- ②グローバルに活躍できる高度なスキルを有する人材を育成する場所が県内にない。
- ③コミュニケーション能力など、人間力が不足している人材が多いが、県内で研修できず、大阪で受講。

【雇用創造への展開方向】

- ①公共職業訓練のメニューの多様化
(企業ニーズに応じた職業訓練内容の充実)
- ②企業ニーズに応じた在職者向け職業訓練の拡大
(オーダーメイド型在職者訓練の実施)
- ③就職の可能性をより高める職業訓練内容の充実
(キャリアコンサルティングの充実強化)

【目標】

- ①地域の人材ニーズに応じた職業訓練による人材育成
⇒ 年間約1,300人規模
- ②企業の技術力向上に資する職業訓練による人材育成
⇒ 年間約 500人規模
- ③とっとり雇用創造未来プランに人材養成による人材育成
⇒ 約 2,100人規模 (平成23~25年度の3年間)

【目指す姿】

- 県内企業が求める人材育成を支援し、県内産業の基盤強化及び次世代産業等魅力ある産業を創造。
- 離転職者向けの職業訓練及び訓練修了後の就職支援の充実により、地域産業を支える人材を育成

【主な事業】〔※②④:24年度予算額、②③:23年度予算額、単位:百万円〕

- ① 職業訓練事業費〔②④ 447 ②③ 440〕
(内容)・企業ニーズに応じた職業訓練内容の充実
・オーダーメイド型在職者訓練の拡充
- ② 職業訓練によるキャリア形成支援・技術力強化事業〔②④ 5 ②③ -〕
(内容)・キャリアコンサルティングの充実
- ③ 技能振興事業(うち認定職業訓練)〔②④ 13 ②③ 11〕
(内容)・認定職業訓練実施の支援

企業ニーズに応える人材育成

